

星 川選挙管理委員長が総務大臣感謝状を受賞 選挙制度の節目を飾る表彰

11月25日、国民参政135周年・普通選挙100周年・婦人参政80周年を記念して行われた総務大臣感謝状伝達式で、選挙管理委員長の星川薫氏が表彰されました。

この記念の年に、多年にわたり選挙の適正な管理や啓発活動に尽力した功績が評価されたものです。星川委員長は14年間にわたり選挙管理委員会に在職し、選挙事務の円滑な運営に貢献されてきました。

この度の受賞、誠にありがとうございます。



未 来の安心を支えるカーブミラー寄贈

11月28日、もがみ中央農業協同組合と全国共済農業協同組合連合会山形県本部より、町に4基のカーブミラーが寄贈されました。

このカーブミラーは、両団体が交通事故防止対策事業の一環として、県内の市町村に毎年寄贈しているものです。

町では、寄贈いただいたカーブミラーを見通しの悪い場所に設置し、交通事故防止に役立てていきます。ありがとうございました。



企 業版ふるさと納税の感謝状を贈呈

新庄信用金庫様より、企業版ふるさと納税制度を活用し、50万円のご寄附をいただき、感謝の意を表するため、令和7年12月9日に感謝状を贈呈いたしました。この度の寄附は、「最上町まち・ひと・しごと創生寄附活用事業（木質バイオマスエネルギー事業他）」に大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

写真右 理事長 井上 洋一郎 氏



赤 倉温泉スキー場安全祈願祭を開催

12月6日、赤倉温泉スキー場において、今シーズンの安全と千客万来を祈念する安全祈願祭が執り行われました。多くの御来賓をお迎えし関係者が参列する中で、神事を通じて、利用者が安心してウィンタースポーツを楽しめるよう祈りを捧げました。

この冬も多くのスキーヤーや観光客の来場が期待されています。町の冬のにぎわいを支える拠点として、安全管理の徹底と魅力あるスキー場運営が誓われました。



まちトピ town topic

最 上町スポーツ少年団交流大会 「ティーボール大会」が開催されました

11月9日、向町小学校グラウンドでティーボール大会が開催され、子どもたちは秋空の下で熱戦を繰り広げました。大会は初心者向けのルールが取り入れられ、参加者全員がティーボールの魅力を実感しました。

チームワークを発揮しながら仲間との交流も深まり、笑顔あふれる大会となりました。今後も町では地域スポーツの発展に取り組んでまいります。

優 勝：もがみ真室川 joint B チーム 準優勝：最上ユナイテッド FC
第3位：もがみ真室川 joint A チーム



写真下段中央：小野貴之さん（立小路）

野 菜づくりの情熱、県から高い評価 最上農業賞 立小路・小野さんが受賞

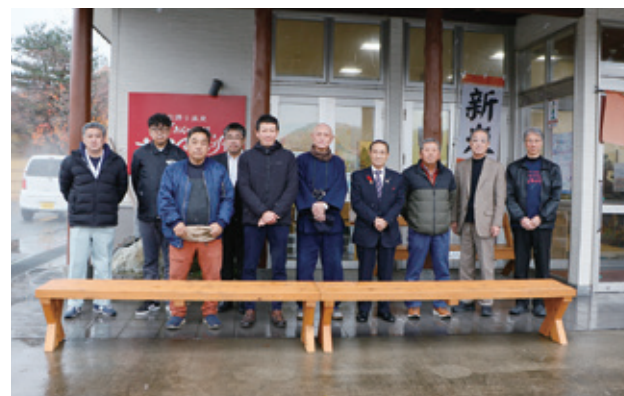
11月13日、最上総合支庁で開催された「令和7年度最上農業賞」表彰式において、立小路の 小野貴之さん が技術及び経営改善部門で受賞されました。小野さんは、トマトを中心に、たらの芽や里芋などの野菜栽培を主とした農業経営に取り組み、その高い生産技術と経営改善への姿勢が評価されました。

また、「若手トマト研究会」の一員として新規就農者への技術指導を行うほか、東北農林専門職大学、同付属農林大学校、新庄神室産業高校の学生・生徒の研修やインターンシップの受け入れにも積極的に取り組んでいる点も高く評価されています。

小野さんの今後のさらなるご活躍を期待いたします。

町 生産者が山形県きのか品評会で入賞 高品質なきのかが集結

11月17日から2日間、新庄市ゆめりあで第39回山形県きのか品評会が開かれ、県内から31点が出品されました。色や形、鮮度などが審査され、最上町からは複数の生産者が入賞しました。菌床しいたけを出品した二戸司さんが優秀賞（JA 全農山形県本部運営委員会会長賞）を受賞。菅甚助さん（菌床しいたけ）が県森林組合連合会会長賞、木村勇智さん（まいたけ）が丸果庄内青果株式会社社長賞を受賞しました。太田博さん（菌床しいたけ）は優良賞に選ばれました。町内生産者の活躍が続いており、最上町産きのこの品質向上が期待されます。



最 上ロータリークラブがベンチを寄贈

11月18日、最上ロータリークラブより、赤倉温泉ゆけむり館へベンチを寄贈いただきました。訪れる皆さまがより快適に過ごせるようにと設置されたもので、温泉利用者の憩いの場として幅広く活用されます。寄贈にあたり高橋町長が、これまでの継続的な地域貢献に深く感謝をお伝えしました。温かいご厚意に、心より感謝申し上げます。

最上校企業訪問

12月11日、新庄北高等学校最上校1年生を対象とした町内企業訪問ツアーが開催されました。生徒たちは、(株)ジーエムシーヒルストン、(株)早坂建具製作所、ゆめみの宿観松館の3事業所を訪問し、各企業の概要説明を受けるとともに、施設や工場内を見学しました。普段は目にすることのない製造現場や、実際に働く方々の姿に触れることで、仕事への理解を深める貴重な機会となりました。今回の体験は、生徒一人ひとりが将来の進路について考えるうえで、大変有意義な時間となりました。



中学生「税についての作文」新庄税務署長賞を受賞

令和7年度「中学生『税についての作文』」において、最上中学校の阿部弦太さんと岸美波さんの2名が、新庄税務署長賞を受賞しました。今回の作文では、身近な暮らしや地域社会を支える「税」の役割について、自分の視点で考えた気づきや将来への思いが、それぞれの言葉で丁寧につづられました。

受賞した阿部さんは、「大人になってからは収める立場に変わる税を、これからもっと考えていきたい」と語り、岸さんは、「まだまだ税金について知らないことだらけ。もっと学びたいと思いました」と、今後の税に対する学びの意欲を語ってくれました。お二人の受賞を心よりお祝いするとともに、今後のさらなる活躍を期待しています。



左：岸美波さん 右：阿部弦太さん

令和8年度 放課後児童クラブ入会募集

令和8年度、放課後児童クラブ（学童）の入会を下記のとおり募集いたします。入会を希望される方は、申請期間内での申込みをお願いいたします。なお、放課後児童クラブは1年ごとの更新制のため、利用される方は全員申請が必要です。申請にあたりご不明な点があれば、こども支援課までお問い合わせください。

- 申請期間 令和8年1月9日（金）～1月30日（金）
- 対象 令和8年4月1日現在、町内の小学校に在籍しており、保護者が就労等により家庭で保育ができないと認められる方
- 申請先 こども支援課（受付時間／平日8：30～17：15）
※申請書類は、役場こども支援課の他、各学童でも配布

（町公式HP：<https://town.mogami.lg.jp> からダウンロードできます。閲覧は1月9日（金）から可能です。）

○募集するクラブ名称および定員

名 称	定員
向町すこやかクラブ	70名
大堀すこやかクラブ	36名

○お問い合わせ先 こども支援課 ☎43-2247



地域に広がる歌声と笑顔

富沢歌・踊り愛好会「二輪草会」

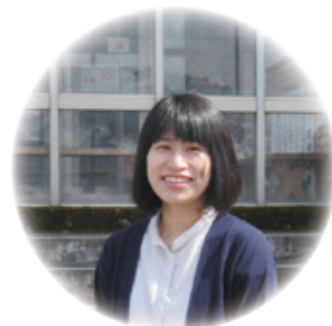
カラオケ事業の始まりには諸説ありますが、一般的には1971年とされています。1980年代初めには映像付きカラオケが登場し、長く多くの人に親しまれてきました。しかし、コロナ禍の自粛期間には、人と会うことも大きな声を出すことも控えられ、思うように歌えない時期が続いたことを覚えている方も多いのではないのでしょうか。

こうした中、「みんなで歌い、踊りながら、いきいきと楽しい毎日を過ごし、生きがいのある元気な集落をつくりたい」との思いから、富沢地域で今年10月に歌・踊り愛好会「二輪草会」が発足しました。現在、富沢地区公民館を会場に15名の会員が元気に活動しています。

会の名称は、川中美幸さんと弦哲也さんの歌『二輪草』の歌詞にある「つらいときにも生きる力をくれるひと」のように、仲間と集い、歌や踊りを通じて日々の活力を得られる場にしたいという願いを込めて名づけられました。



活動の場では、歌を楽しむことだけでなく、人とのつながりを大切にする温かな交流が育まれています。会員同士が笑顔で言葉を交わし、歌声が重なるたびに人の輪が広がり、地域の絆が深まっていく、そんな力を感じる会となっています。



富沢地区集落支援員
井上 あゆみ



大堀地区集落支援員
石山 薫

地元を歩き、地元を知る 3地区のまち巡り研修

地域コミュニティ活動の向上を目的に、富沢・向町・大堀の3地区による合同研修会が11月14日（金）に開催されました。当日は、各地区の推進会議・事務局員ら31名が参加し、「日頃通り過ぎるが、見学したことのない所」をテーマに町内の名所を巡りました。

最初の研修先は旧瀬見小学校です。カフェ「ふういん」の佐藤氏の案内で、2階に展示されている半田豊氏のギャラリーを見学しました。参加者は作品にじっくり見入ったり、佐藤氏に質問したりと、熱心な姿勢が見られました。

続いて、東北電力職員の案内のもと、瀬見の水力発電所を訪れました。本発電所は県内で2番目に古いダムで、大きな水車ランナーや発電機を間近で見ることができ、いつもは対岸から眺めるだけ「中に入るのは初めて」「小学校の遠足以来だ」といった声が上がったり、つり橋や川に広がる岩場、紅葉と相まった風景も加わって、



瀬見の水力発電所見学の様子

参加者にとって印象深い見学となりました。最後に訪れたのは、江戸末期創業で山形県最古の木造建築物旅館瀬見温泉「喜至楼」です。ガイドの板垣氏から、建物に込められた歴史や細部の装飾の意味など丁寧な説明があり、参加者は当時の面影に触れながら見学を楽しみました。

今回の研修で巡った「日頃通り過ぎるが、見学したことのない所」には、最上町の重要な歴史や文化が息づいています。皆さんもぜひ町内の魅力にふれ、その歴史と文化を感じ、未来へと伝えていってほしいと思います。